

「健康が不安」の払拭のため、傷病有給休暇を導入

取組の ポイント

- 看護部のワークライフバランスに関するアンケート調査がきっかけで、健康不安への払拭のために失効する有給休暇を積み立てる休暇制度を導入
- 入院時に取得できる特別休暇を申請してこない場合は、病院側から声掛けをして、傷病有給休暇の利用を促進
- 勤続年数 10 年、20 年、30 年で付与される特別休暇の取得率は 100%



取組の目的・概要

- 看護部のワークライフバランスに関するアンケートの中で、勤務を継続していく上での不安要素を聞いたところ、「自分自身の健康」と回答した職員が多かった。
- 一方、以前から2年で失効する有給休暇の有効活用についても検討しており、アンケートで明らかになった「自分自身への健康」に対する職員の不安を軽減するために活用することを検討した。
- この結果、失効する有給休暇を積み立てる、傷病有給休暇（病気で休職する際に使用できる特別有給休暇）を導入した。
- 2年で失効する有給休暇を最大40日まで積み立てられる有給の休暇制度で、病気やけがなどにより、7日以上連続して勤務が困難となった場合（入院を含む）に限り使用できる。
- 傷病有給休暇は看護部、事務部、医局、診療部、リハ部の5つの部署全ての常勤職員が対象となる制度である。
- 欠勤になると、傷病手当で3分の2の補填はあるものの、賞与は減額となるが、特別休暇制度を利用することで、経済的損失を軽減することができる。
- 病気休暇のほか、勤続年数10年で3日、20年で5日、30年で7日付与される永年勤続特別休暇があり、報奨金も出るという取組もあり、取得率は100%となっている。

企業概要

[設立] 1980年9月30日
 [事業内容] 医療・福祉
 [所在地] 山梨県甲府市
 [従業員数] 395名(29年4月現在)

[年次有給休暇の取得率] 71%
 [年間休日数] 108日
 [URL] <http://www.kofujonan.or.jp>

取組内容と特徴

看護部のワークライフバランスへの取組がきっかけ

- ・看護部が山梨県看護協会の「看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業」に参加したことがきっかけで、病院内でのワークライフバランスの取組が始まった。
- ・この取組の一環で、ワークライフバランスに関するアンケート調査を実施したところ、「自分自身の健康が不安」という意見が出た。以前から2年で消滅してしまう有給休暇の有効活用についての検討も行っていたため、病院全体で健康不安を払拭する休暇制度についての検討が始まり、傷病有給休暇として導入した。
- ・有給休暇の残日数の積立という性質上、有給休暇取得を推進しているので、積立て日数は少なくなってしまうこともある。特に勤務年数の短い職員はあまり利用できないのが現状である。
- ・今後、「入院を含む7日以上欠勤」という条件について見直しを検討していく予定だが、取得しやすくすることで管理が煩雑になるという懸念はある。また、慶弔見舞金については5日以上等の他の規定との整合性を図る必要があると考えている。
- ・傷病有給休暇を導入したことで、長期休暇への不安軽減、経済的損失の減少、離職率の減少、優秀な人材の確保等の成果・メリットが期待できる。

入院時の特別休暇を取得可能な職員へ声掛け

- ・傷病有給休暇に関する説明は、入職時のオリエンテーションで必ず説明し、就業規則にも明記している。しかし、休暇制度の性質上、すぐに自分が該当するわけではないため、忘れてしまうことが多い。そのため、欠勤が発生しそうな職員がいれば、相談に応じる体制づくりや周知を行っている。

- ・就業規則の中で「3日以上休みになる場合は、診断書を提出する」というものがあるので、これにより情報をタイムリーに把握することができる。診断書を見ながら、当該職員の部署に現状をヒアリングし、傷病有給休暇を利用できる条件を満たしている場合は、本人に確認するように依頼している。

お互い様の心で休暇取得を推進

- ・以前は休暇を取得する際、自分で代替要員を探すようにしていたが、精神的な負担も多かったため、周りの職員がフォローするという風土に変わってきた。
- ・看護部では、どうしても人員が足りない場合は、休みの人で出勤できる人を探すなど、お互い様の風土で調整を図っている。「お互い様」と言い始めてから、休暇を取得しやすくなった。傷病有給休暇以外にも、年次有給休暇の取得率は70%以上、勤続年数10年、20年、30年で付与される永年勤続特別休暇の取得率は100%となっている。
- ・今は人材を何とか確保できており、余裕があるわけではないが、チームで助け合って休暇制度を運用することができている。ただし、人員確保でいうと特に介護職が集まりにくい状況となっており、今後課題となる可能性がある。